東京特電（發信局）

●海底複設問題　海底線複設は兩信省の意向未だ定まらず目下大島民政長官より右理事計と仲小路次官に照しつゝあり

●臺灣製糖配當　臺灣製糖會社本期配當は重役會議にて一割四分と内定す（以上九日午前八時五十分發）

●久邇宮行程　久邇宮殿下は來る二十二日英國御出發米國著ノ上大統領を訪問わらせられホドソン市の祝典に御參列十月末桑港御發程御歸朝の御豫定なりと

●安奉竣工期　安奉鐵道の竣工期は來る四十四年なり

●安奉と英國輿論　倫敦タイムスは安奉問題に關し特に社說を掲げ日本の今回の態度を是認し清國と第三國の野心とを戒め清國開發の爲めに最良の親友たり指導者たる者は日本ならざるを得ずと評せり

●安奉と上海新聞　上海のマアヤユリー氏は社說にて日本の英斷を歡迎し外交に通ぜざる清國官憲及び青年輩の滑稽なる主權論、利權回收說は既に聞き飽きたり英國外交家も須らく日本に學びて硬骨を示すを要すと

●滿韓鐵道統一　韓國鐵道所屬機關は滿韓鐵道の統一上統監府は其速成を期する爲め或點まで容喙する權利を保留し所屬機關の如きは敢て異議なしと

●キッチナル大將　キッチナル大將は印度軍司令官を退職して元帥に進みたるが既報の如く極東旅行の後地中海要塞司令官となるべく今より此の人に依りて英國々防の大改善を期待せらる

●移民制限問題　英帝國の國防會議の爲め來英中の加奈陀海相は日本の加奈陀移民制限を深く感謝し日本は早晩濠洲に著目すべく濠洲人は愼重に海陸の防備を計るべしと說けり

●無條件復業　桑港來電に依れば布哇の日本人罷業者は去る五日無條件にて復業せりと勿論妥協成りたる結果なるべし

●清國贈勳　北京の清國留學生教育に與りし日本將校百人餘名に勳章を贈與さる

●清國海軍準備　北京政府の新海軍大臣等目下官制其他の準備に努めつゝあり

●來秉畯の任命　來秉畯氏は七日中樞院顧問に任命せらる

●日糖金子不調　昨日金子臺灣銀行頭取は同會社專務所に出張し會見し最後の決答をなし談判愈々不調に終る

●土佐丸不結果　土佐丸は六日米國より横濱に歸航す船客は一、二、三等を通じて八十四名貨物値に二十噸に過ぎず爲めに本航海限り米國航路を廢して內地航路に廻すべしと

●東京の物價　七月中當地の物價は前月に比し騰貴したるもの二十一種にして一般には又々八毛の低落を見たり

●九州暴風雨　六日九州地方に暴風雨あり大分、宮崎、福岡の各地に被害多し

●放駒の歸阪　大阪相撲は一旦常陸山邸に附合て東京相撲に入りたるも紛々の末到頭歸阪に決す（八日午後三時五十分發）

大阪特電（發信局）

●安奉改築覺悟　我政府は獨力を以て安奉線を改築すべき旨を清國政府に通告せるより清國政府の狼狽甚し安奉線沿道は何時たりとも萬一の變に應ずる準備あり命令一下軍隊は直ちに出動し得べきも只今の所別に增兵せず警備の兵員は今なほ通り一大隊のみ（錫東三省總督は兼ねて命令を發し沒道の土地買賣を禁じ居たりしも地主の大部は既に滿鐵の藥籠中に在りて何等の氣遣ひなし又安東縣發情報に依れば沿道日清兩國民敵愾心を起し多少不穩の色無きにあらざるもさしたる事件無かるべしと）

●歐亞最短線　安奉線中村滿鐵總裁曰く安奉線改築の竣工には二年半を要すべし而して改築竣成の曉には浦鹽太連線に比し數時間を節約し得べく即ち歐亞連絡の最短線なり去六日工事著手以來何等の異狀なく無論本穩に工事を進め居る筈なりと

●待從の歸京　昨日命子爵旨を奉じ當地火災を視察せる日野西侍從今朝歸京の途に上る

●關稅案署名　米國大統領タフト氏は四日夜關稅案に署名したり（以上八日發）

島內電報（發信局）

●臺中研究行軍　臺中守備隊は去る七日沙轆支廳下粗目井方面に研究行軍を試みしが一二十五名の兵士日射病にて卒倒し內一名遂に死亡せり（九日臺中發）

●鳳山地方水害　鳳山地方は昨日來近來になき大雨あり今尙ほ歇まず各地の被害少からず本朝打狗發鳳山行一番列車は五時九分頃三塊厝附近にて線路陷落の爲め客車一輛轉覆せしも乘客は幸にして無事なり之れが爲め二番列車は定時刻に遲くること約四十分にして漸く運轉せり

下淡水を渉る旅用鐵道は無事運轉しあるも阿緱と阿里港、萬丹間及新興製糖會社の各線は何れも不通港仔墟旅用鐵道は手押にて辛くも本線に連絡しつゝあり尙番樹街道の郵便鐵道も運轉不能となれり

●海電複設行惱　海底電線複設問題は未だに解決を見ず總督府は焦眉の急に迫れる本工事をして何時まで也苟たらしむるを不可となし結局工費の幾分を負擔して多年の宿望を遂行せんと即ち本案を遞信省に携へ行きて交渉する所ありしが別項東電に依れば遞信省の意向未だ決定せず大島民政長官は仲小路次官に本年算の計上を迫りつゝあり傳ふ今や豫算編成の完了期に迫れる折柄尙斯の如き狀態に在りとせば本問題の前途甚だ悲觀すべきものあるに似たり

今本問題に付て從來聞き得たる經過を報せんに小松通信局長は數年來繼續の問題にして昨年八月の故障以來殊に複設の必要を感じたれば總督府の提議に贊同し剩さへ工費の幾分を負擔して何時も解決の速かなるを期し

●明年度總豫算　明年度の豫算は例年よりも早めに大藏省に提出すべく夫々編成を急ぎたるが今日の模樣にては矢張り昨年の如くに九月中ならでは全部の出揃を見るべからず各省豫算中今日尙決定に至らざるは新事業に伴ふ計畫に未だ豫算計上の運に至らざるもの多く又臺灣の特別會計豫算も右同樣の關係あり而して統海補助費の如き糖業關係豫算の如き何れも今尙未了の途中に在れば一般會計及特別會計共に全部の解決を見て大藏省の手に纏まるは今後一箇月の後なるべしと云ふ因に本年度の豫算編成を斯くも急ぎたる理由は議會召集期を例年より幾分を早め十二月初旬乃至中旬には遲くも開會すべしとの意向なるが如く傳へしも豫算案にして今尙右の如くんせば果して開期を早め得べきや否やは疑問なりと云ふ

●新竹隘線情報　去七日以來新竹前進隊の戰況左の如し

▲巡査隘勇戰死　電話架設附屬巡査松林千代吉外隘勇一名は七日午前十時架設作業中の所突然兇番の狙撃を受け即死す

▲隘勇の負傷　第一部隊方面の兇番は前夜來稍や沈靜なりしが八日午後二時二十分同隊の先頭部隊に襲來し激戰の結果隘勇一名右手に貫通銃創を受けたり

▲同上續報　七日以來各方面共比較的靜穩なりしが八日午後三時二十分數多の兇番第一部隊の左側より襲來し交戰約二十分にして之を擊退せり此交戰中第一部隊附隘勇張阿生は右腕に貫通銃創を負へり

▲各隊總攻擊　九日午前四時三十分各隊は豫定の通り總攻擊に著手す第一都隊方面は八日午後三時より引續き交戰中なるが九日午前四時三十分頃同隊附隘勇一名又々貫通銃創を負へり

▲內橫屏山占領　深坑より派遣したる應援部隊は九日午前九時四十分內橫屏山の絕頂中央部を占領せり兇番は掩壕を棄て逃走したるものゝ如く少しの抵抗をも受けず山頂よりは番社の一部を視望することを得右の情報に據れば我前進隊は去月以來內橫屏山の中腹を占領して敵と對峙し敵は山頂を固守して容易に動かず時々猛烈なる襲擊の爲め我隊の損害は意外に多かりしが今回苗栗深坑兩廳の應援に據り戰機漸く熟したるを以て昨晚各方面より總攻擊に移りしが深坑隊は先づ進んで敵の根據地たる內橫屏山頂を占領したるものゝ如し同山は拾數八十八尺を有し今回反抗せる番人の首領たるメカラン社油羅社等は何れも其の背後に下瞰するを得べき位置なるを以て同上の占領は今後の行動上多大の利益あるべし

●民政長官代理の祝電　新竹油羅山方面の隘勇線前進隊は昨今連日の炎暑に際し兇猛なる敵壘に勇戰奮鬪して士氣益々旺盛を極め昨日を以て深坑部隊は敵の根據地たる內橫屏山を占領したる由なるが右に就き山田民政長官代理は直ちに前進隊に對し祝電を發せり

●研究行軍　一部隊歸營　去る三日より行軍を開始したる第一大隊は豫定の日割に依り行軍を續けたるが一昨八日一同無事歸營し又宜蘭方面へ向ひたる山砲兵第一中隊も豫定より早く無事歸營したれば水泉司令官は直に兩隊に至りて歸營當時の狀況を具に視察せりと尙右兩隊の行軍中時に依り數名の落伍者を出したる由なるも何れも輕患者にして直に全快せしは洵に喜ぶべく由來如何なる時の行軍に於ても一二名の落伍者を出すは免るべからざる事にして之より見れば第一大隊並に山砲中隊に於ける今回の行軍成績は頗る好良なりと云ふべし

●後村圳整理と起債　臺北廳管內公共埤圳後村圳は已報の如く業主權買收は略々終著したるが同權利買收費及び舊債還の爲め起債額五萬二千圓を本年度に於て勸業銀行より借入べく此の程同管理者より廳長へ申請し來りたるが同支出總額に就て其內譯を示せば即ち左の如し

▲八千五百圓　劉厝圳業主權買收費▲二萬一千三百七十五圓　後村圳工水水租業主權買收費▲一萬七千二百十七圓　同圳底水租業主權買收費▲三千七百圓　同圳補償費還金額▲千百六十五圓　劉厝圳舊債償還金額▲千四十三圓　豫備費

而して之が償還方法に就ては四十二年度に借入れ翌年三月末日迄元金を据置き同年四月より向ふ十五年間の年賦償還とする計畫にて前記負債總額に對し支拂ふ可き據置利息及年賦金に關しては現在負擔水租以前に特別の負擔を爲さずして現在の水租を財源に充る計畫なるが其豫定水租收入年額の內一萬六千五百六十五圓內六千二百六十二圓を以て年賦支出金に充當し殘金一萬三百三圓は管理費として支出する計算なりと云ふ

●警視總長巡視效果　去月二十七日より當月四日に渉り廳下各支廳を巡視したること既報の如し同總長は一昨日廳警務課を檢閱し本日亦大稻埕並に城內艋舺各保正を夫々派出所に召集して訓諭を爲し是にて全部終了したるが這回の如く詳密を盡したる巡視は之が嚆矢にて其及ぼす效果は啻に廳下各支廳の嚴肅を喚起するに止まらず延いては本島警察權の振作に資する所尠からざるべし巡視の結果は近々各支廳警務課等に告達せらるべきも其大體に就て云へば警察官の各個人に對する態度並に警察事務取扱上の如何等にして或は巡査の點檢を爲し或は警部補術科を閱し或は警部に質問を發せし等周到至らざるなく尙今後迎も其必要に應じ何時巡視するやも知れずと云ふ

●前進隊慰問　新竹にては隘勇線前進隊慰問の爲め內地人側より橋本松次、眞山丑三郎、古川清一、渡嘉敷唯良、松本徒爾、澤木佳一郎諸氏本島人側より陳信齋、陳雲如、彭逢春、何樹滋、鄭洪浪、黃鼎二、蘇鴻元、鄭正龍、黃榮諸氏發起者と本島人側より八百圓內地人側より二百圓都合一千圓の慰問金を送り內四百圓を慰問として前進隊へ送り二百圓を歡迎費とし殘額四百圓を戰死者へ香奠として贈る筈に既に第一回慰問として目下新竹醫院入院中の新井巡査外隘勇二名者人二名に贈金したる由

●臺北驛收入　本島鐵道の發達に伴ひ臺北驛の收入は年々增加の一方なるが殊に昨今は移出米の輸送期なれば其の收入も著しく增加し即ち客月中の總收入は三萬八千九十七圓に達し之れを六月中の收入に比するに五千百四十八圓を增し更に昨年七月中の收入に比すれば七千七百七十二圓の增收なり尙本年度七月までの累計收入は十三萬四千五百三十四圓を算し前年度同期間の累計收入額よりも二萬四千八百五圓の增加を示せりと云ふ

●高山稅務課長　本日三番列車にて上京
●下阪藤太郎氏　本日四番にて上京
●野呂技師　本日上京
●尾見博士　本日三番にて上京
●小川編修官　臺中外二廳へ出張の序を以て鹽水港廳下へ出張を命ぜらる
●三村祕書官　上京中の同氏は三四日前猖紅熱に罹り赤十字病院に入院治療中
●片山參事官　出張中の處一昨日歸府
●森獸醫部長　宜蘭地方へ出張中の處一昨日歸府
●金澤參謀　宜蘭地方へ出張中の處一昨日歸府
●染河副官　新竹地方へ出張中の處一昨日歸府
●犬山副官　本日上京
●服部鐵道部事務官　本日臺東に出張
●羽鳥防疫醫官　本日臺東に出張
●矢野猪之八氏　元判官同氏は正五位に敘せらる
●田村武七氏　昨夜來北
●松尾官蘭郵便局長　本日赴任
●ホーマーヤ氏　華利洋行主同氏は殿父病氣の報に接し昨日地洋丸にて歸米の途に上る

●無絃琴　大阪の大火に續いて、安奉線問題が少し色めいたので、昨今內地電報が頻々と來る。電報飜譯掛は頗る繁忙を極めるのであるが、ツマラン電報でもドシドシ來る時には、妙に景氣づくものである、併し中には文字の間違の爲めに、薩張り譯の分らないのがあるには閉口だ▲電報の間違ひでは近頃面白い話しがある、此間の澎湖島通信に、練習艦隊が一日に入港すると云ふ通知があつたから、歡迎の準備中であるとあつた、所が海軍幕僚で聞いて見ると練習艦隊は來る筈が無い、多分何かの間違であらうと云ふとで、訂正に及んだのであつた。果然、其後澎湖島からの報告に據ると、右は全く電報の間違ひで、實は伊豆知練習艦隊司令官から、馬公要港部司令官へ宛て『レンシウカンタイ一ヒキチヤク』と云ふ電報があつたので、一日に入港するものとしたのであるが、餘り怪しいので調べて見ると『レンシウカンタイヲヒキイキチヤク』と云ふので、詰り艦隊の所屬軍港へ歸著した通知が、一二字の相違で斯うなつたことが分つて、大笑であつたさうな、大笑で濟む時は好いが、大に注意を要する問題である

●取消　前號本欄新竹短信中油羅山方面前進隊員戰死者に關する記事は事實相違の廉あり取消す